

八頭郡の農業及び東部地区の林業の概要

平成27年8月

東部農林事務所八頭事務所

目 次

1 農業の概要

- (1) 農産物販売金額規模別経営体数
- (2) 専業・兼業別農家数(販売農家)
- (3) 経営耕地及び耕作放棄地の状況
- (4) 認定農業者数の推移
- (5) 新規就農者数の推移
- (6) 集落営農組織の動向

2 農作物の栽培状況等

- (1) 作物
- (2) 野菜・花き
- (3) 果樹
- (4) 畜産

3 森林・林業の現状と取組み

- (1) 東部・八頭の森林の現状
- (2) 間伐の推進
- (3) 地域材の供給
- (4) 木材価格の推移
- (5) 森林路網の整備
- (6) 放置竹林の整備
- (7) 森林病虫害の被害・防除
- (8) 特用林産物の振興

1 農業の概要

(1) 農産物販売金額規模別経営体数

(単位:戸)

項目 町	計	販売 なし	50万円 未満	50~100 万円	100~ 200万円	200~ 300万円	300~ 500万円	500~ 700万円	700~ 1,000万 円	1,000万 円以上
若桜町	243 100%	32 13.2%	161 66.3%	24 9.9%	9 3.7%	8 3.3%	3 1.2%	1 0.4%	0 0.0%	5 2.1%
智頭町	497 100%	141 28.4%	289 58.1%	30 6.0%	19 3.8%	5 1.0%	9 1.8%	1 0.2%	1 0.2%	2 0.4%
八頭町	1,533 100%	160 10.4%	746 48.7%	269 17.5%	193 12.6%	59 3.8%	51 3.3%	19 1.2%	12 0.8%	24 1.6%
八頭郡計	2,273 100%	333 14.7%	1,196 52.6%	323 14.2%	221 9.7%	72 3.2%	63 2.8%	21 0.9%	13 0.6%	31 1.4%
鳥取県	22,035 100%	2,173 9.9%	10,009 45.4%	3,721 16.9%	2,292 10.4%	1,106 5.0%	976 4.4%	468 2.1%	464 2.1%	826 3.7%
全 国	1,679,084 100%	172,508 10.3%	528,644 31.5%	288,050 17.2%	225,910 13.5%	113,029 6.7%	102,718 6.1%	57,246 3.4%	57,096 3.4%	132,983 7.9%

資料:「2010年農林業センサス」

(2) 専業・兼業別農家数(販売農家)

(単位:戸)

項目 町	総農家	販売農家	専業農家	兼業農家	兼業農家	
					第1種兼業	第2種兼業
若桜町	397	237	62	175	8	167
	100%	59.7%	15.6%	44.1%	2.0%	42.1%
智頭町	945	491	97	394	33	361
	100%	52.0%	10.3%	41.7%	3.5%	38.2%
八頭町	2,186	1,486	267	1,219	151	1,068
	100%	68.0%	12.2%	55.8%	6.9%	48.9%
八頭郡計	3,528	2,214	426	1,788	192	1,596
	100%	62.8%	12.1%	50.7%	5.4%	45.2%
鳥取県	31,953	21,474	4,569	16,905	2,528	14,377
	100%	67.2%	14.3%	52.9%	7.9%	45.0%
全国	2,527,948	1,631,206	451,427	1,179,779	224,610	955,169
	100%	64.5%	17.9%	46.7%	8.9%	37.8%

資料:「2010年農林業センサス」

(3) 経営耕地及び耕作放棄地の状況

(単位:戸、ha)

項目 町	経営耕地 のある経 営体数	経営耕地 面積	田		畑		樹園地		耕作放棄 地面積
			田のある 経営体	面積	畑のある 経営体数	面積	樹園地 のある経 営体数	面積	
若桜町	239	169	233	135	184	27	28	7	32
	100%	100%	97.5%	79.9%	77.0%	16.0%	11.7%	4.1%	18.9%
智頭町	494	323	494	295	346	25	23	4	62
	100%	100%	100.0%	91.3%	70.0%	7.7%	4.7%	1.2%	19.2%
八頭町	1,511	1,419	1,424	1,037	1,062	184	591	197	156
	100%	100%	94.2%	73.1%	70.3%	13.0%	39.1%	13.9%	11.0%
八頭郡計	2,244	1,911	2,151	1,467	1,592	236	642	208	250
	100%	100%	95.9%	76.8%	70.9%	12.3%	28.6%	10.9%	13.1%
鳥取県	21,752	26,369	20,501	18,032	15,246	6,686	4,477	1,650	3,616
	100%	100%	94.2%	68.4%	70.1%	25.4%	20.6%	6.3%	13.7%
全国	1,661,486	3,631,585	1,432,522	2,046,267	1,078,739	1,371,521	334,922	213,797	395,981
	100%	100%	86.2%	56.3%	64.9%	37.8%	20.2%	5.9%	10.9%

資料:「2010年農林業センサス」

(4) 認定農業者数の推移

(単位:人)

区分	市町村名	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
八頭事務所	若桜町	6	6	2	3	5	6
	智頭町	4	4	5	3	3	7
	八頭町	51	53	56	48	40	33
	計	61	63	63	54	48	46
東部地区 (八頭含む)	—	230	227	224	204	184	189
中部地区	—	574	523	505	500	488	集計中
西部地区	—	337	343	329	310	318	集計中
日野地区	—	40	40	36	36	37	集計中
県計		1,242	1,196	1,094	1,050	1,027	集計中

資料: H25年度までは県経営支援課調べ。H26年度は八頭事務所調べ。

(5)新規就農者数の推移

(単位:人)

区分	市町村名	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
八頭事務所	若桜町	0	1	0	0	0	0
	智頭町	0	0	1	1	0	2
	八頭町	0	1	4	1	2	1
	計	0	2	5	2	2	3
東部地区 (八頭含む)	—	11	11	14	10	8	13
中部地区	—	13	18	20	19	15	集計中
西部地区	—	13	15	7	7	15	集計中
日野地区	—	4	2	6	3	2	集計中
県計		41	46	47	39	40	集計中

資料: H25年までは県経営支援課調べ。H26年は八頭事務所調べ。

(6) 集落営農組織の動向

平成27年3月末現在

(単位:組織)

市町村名	共同利用型	作業受託型	協業経営型	合計	うち農業生産法人
若桜町	0	1	1	2	1
智頭町	0	3	0	3	0
八頭町		5	4	9	4
合計	0	9	5	14	5

資料:八頭事務所調べ

- 注) 共同利用型: 集落営農に参加している農家が、共有している機械や施設を集落ぐるみ、あ
作業受託型: 集落営農の構成員であるオペレーターや中核農家が、機械や施設を利用した
協業経営型: 集落全体の協業で、各々の農家が能力に応じた作業に従事することによって

2 農作物の栽培状況等

(1) 作物

① 水田利用面積(平成26年度)

水田の7割弱に水稲が栽培され、次いで野菜、飼料作物の栽培面積が多く、生産調整の主
(単位:ha)

町名	水田面積	内 訳					
		水稲		大豆	飼料作物	野菜等	その他
八頭町	1,290	871		19	99	184	117
若桜町	214	133		0	1	31	49
智頭町	436	242		2	31	69	92
合計	1,940	1,246		21	131	284	258
構成比(%)	100%	64.2%		1.1%	6.8%	14.6%	13.3%

(八頭農業改良普及所調べ)

② 水田品種別栽培面積(平成26年度)

ひとめぼれ、コシヒカリの2品種で水稲栽培面積の約9割を占めており、早生良食味品種へ
(単位:ha)

町名	ひとめぼれ	コシヒカリ	きむむすめ	その他うるち	もち米	酒米	計
八頭町	370	327	88	24	21	41	871
若桜町	73	46		6	4	4	133
智頭町	123	100	2	6	10	1	242
合計	566	473	90	36	35	46	1,246
構成比(%)	45.4%	38.0%	6.7%	3.4%	2.8%	3.7%	100%

(八頭農業改良普及所調べ)

(2) 野菜・花き

夏秋大根は、若桜町と八東町にまたがる広留野高原において栽培を行っている。

品目別作付け面積(平成26年度)

(単位:ha)

町名	夏秋大根	白ねぎ	アスパラガス	ブロッコリー	リンドウ	
八頭町	旧郡家町		5.1	1.8	1.2	
	旧船岡町		6.1	0.05	0.5	0.2
	旧八東町	5.1	6.8	0.6		
	計	5.1	18	2.45	1.7	0.2
若桜町	5.3	1.5	0.1			
智頭町		1.6	0.4		2.0	
合計	10.4	21.1	3.0	1.7	2.2	

(八頭農業改良普及所調べ)

(3) 果 樹

①なし

二十世紀を中心に、八頭町で主に栽培されている。
なし品種別栽培面積(平成26年度)

果実部	農家数 (戸)	品 種 別 面 積 (ha)					備 考
		二十世紀	ゴールド 二十世紀	ハウス 二十世紀	その他	計	
郡 家	77	5	5.9	0	14.1	25.0	旧郡家町、旧船岡町
八 東	67	3.9	6.1	2.2	7.7	19.9	旧八東町、若桜町
合 計	144	8.9	12	2.2	21.8	44.9	

(鳥取いなば農業協同組合調べ)

②か き

西条、花御所を中心に、八頭町(旧郡家町、旧八東町)で主に栽培されている。
かき品種別栽培面積(平成26年度)

果実部	農家数 (戸)	品 種 別 面 積 (ha)					備 考
		西条	富有	花御所	その他	計	
郡 家	129	22	2.1	14.8	2.4	41.3	旧郡家町、旧船岡町
八 東	94	25.3			1	26.3	旧八東町
合 計	223	47.3	2.1	14.8	3.4	67.6	

(鳥取いなば農業協同組合調べ)

③ぶどう

八頭町(旧八東町)で、巨峰を中心に13戸で4.1ha栽培されている。

(4)畜産

乳用牛は5戸、283頭で頭数はほぼ横ばい。(前年比±0戸、-6頭)

(単位:戸、頭、羽)

町名	乳用牛		肉用牛		豚		鶏	
	農家数	飼養頭数	農家数	飼養頭数	農家数	飼養頭数	農家数	飼養羽数
八頭町	5	283	13	1,274			1	3,084
若桜町			4	328	2	767		
智頭町			9	302			2	20,633
合計	5	283	26	1,904	2	767	3	23,717

(平成26.2 県畜産課調べ)

3 森林・林業の現状と取組み

(1) 東部・八頭の森林の現状

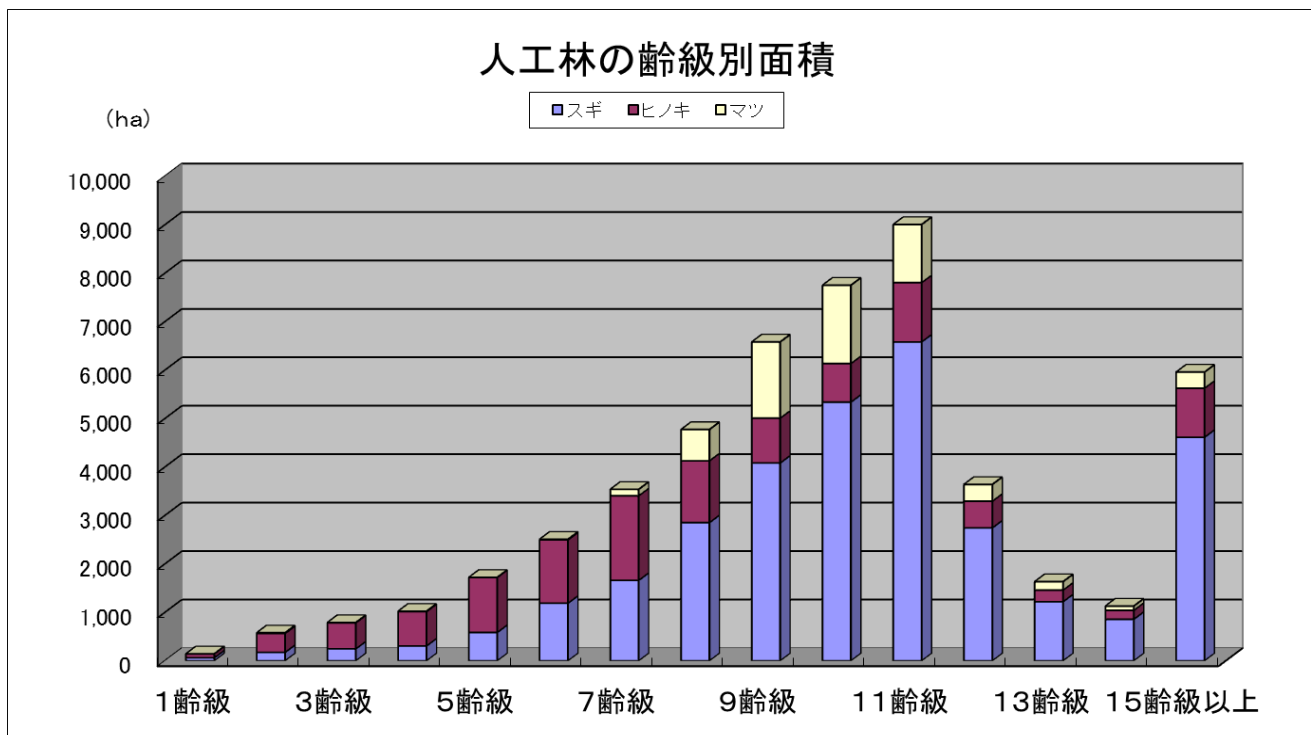
- ・東部農林事務所八頭事務所管内の林野面積は、120,700haと、総土地面積の約80%を占めている。
- ・民有林のうち、スギヒノキ等の人工林は54,640haで、人工林率は約52%と県平均を約2%下回っている
- ・管内南部の若桜町及び智頭町は、古くから林業が盛んであり、県内を代表する林業地である。
- ・スギ、ヒノキの人工林資源は、徐々に成熟し蓄積が増加しつつある。間伐を必要とする人工林が増大してお
- ・間伐団地の設定や車両系林業機械の導入により低コスト林業を推進している。

【林野面積】

区分	総面積 ha	林野面積				民有林内訳			
		国有林 ha	民有林 ha	計 ha	林野率 %	人工林 ha	天然林 ha	その他 ha	人工林率 %
鳥取市	76,566	6,294	48,261	54,555	71.3	22,317	24,045	1,899	46.2
岩美町	12,238	418	9,471	9,889	80.8	2,698	6,418	355	28.5
八頭町	20,671	805	15,742	16,547	80.0	8,060	7,297	385	51.2
若桜町	19,931	5,075	13,797	18,872	94.7	7,938	5,726	133	57.5
智頭町	22,461	3,495	17,342	20,837	92.8	13,627	3,421	294	78.6
合計	151,867	16,087	104,613	120,700	79.5	54,640	46,907	3,066	52.2
県合計	350,728	31,770	226,964	258,734	73.8	123,494	96,448	7,022	54.4

資料：平成26年度林業統計

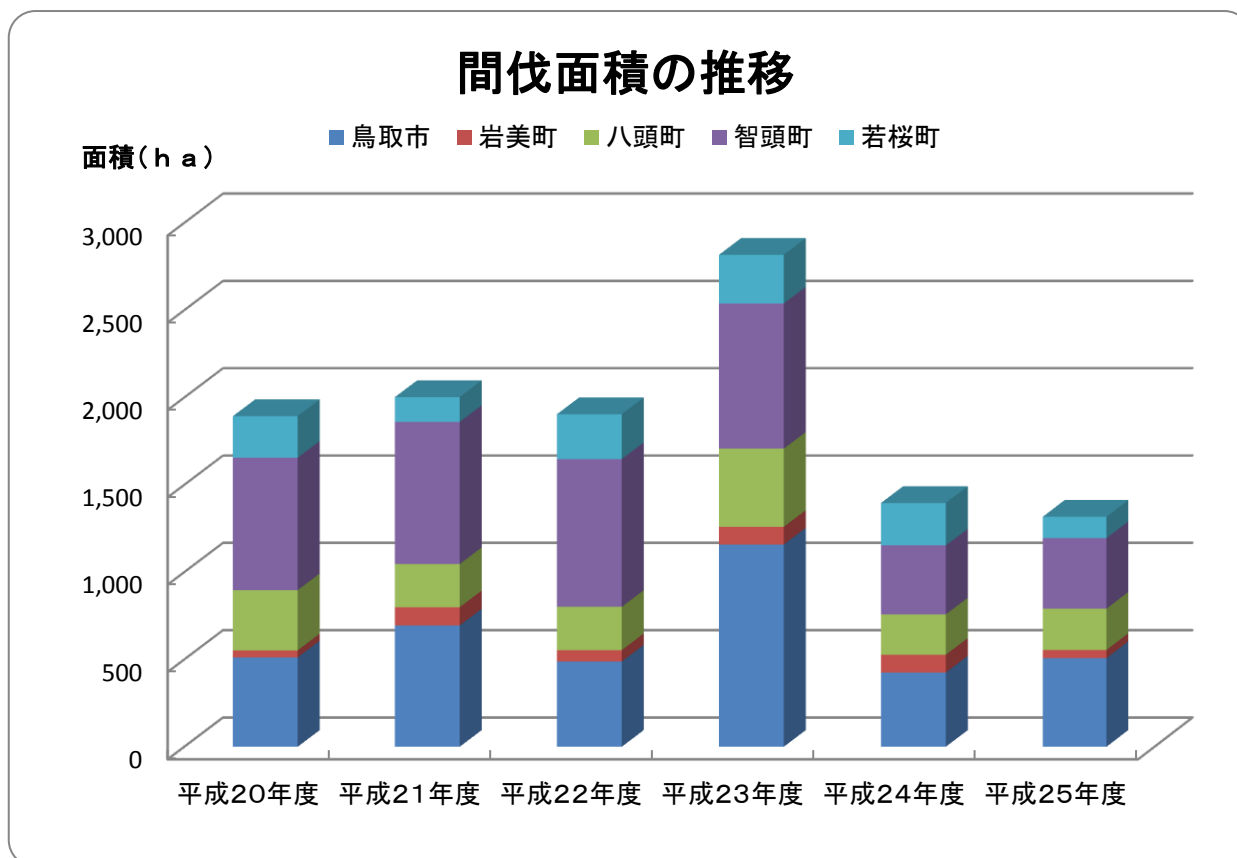
【東部農林事務所八頭事務所管内における人工林の現況】



資料：八頭事務所調べ(森林GIS)

(2)間伐の推進

- ・人工林面積54,640haのうち、間伐施業の必要な21年生～40年生は、約20%の約10,000haあり
- ・森林所有者に間伐の必要性を訴えながら、所有者への収益につながる間伐材搬出利用も積極的に進めている。
- ・間伐面積は現在1,300ha程で推移しているが、林内から持ち出された原木は年々急増し、素材生産事業体数が増えるなど生産能力がより高まった平成26年度はm3に達している。
- ・また、生産費がより低減して所有者の収益が多くなるよう、「施業の集約化、路網整備、高性能林業機械整備」も連携して進めている。



【市町村別間伐面積】

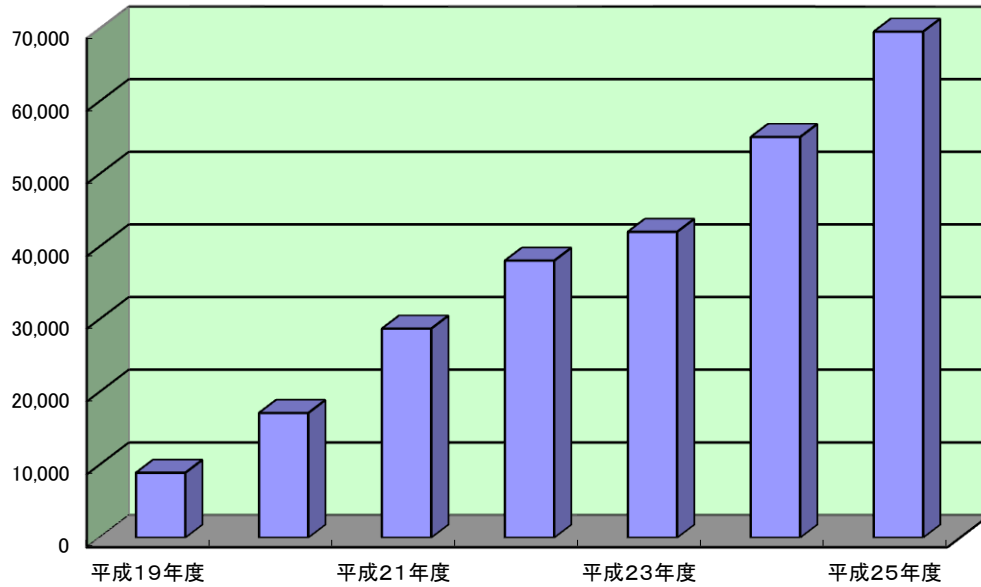
単位: ha

区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
鳥取市	512	695	488	1,158	425	508
岩美町	40	104	65	101	102	46
八頭町	345	247	248	448	231	237
智頭町	758	814	846	831	395	404
若桜町	238	142	257	279	243	122
計	1,893	2,002	1,904	2,817	1,396	1,317

資料:平成26年度林業統計

間伐材搬出材積の推移

面積 (ha)



【市町村別間伐搬出材積】

単位: m³

区分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
鳥取市	4,862	7,080	11,403	13,260	16,026	17,381	24,161
岩美町	0	0	538	0	960	1,764	865
八頭町	409	1,143	1,828	3,404	7,618	10,373	15,210
智頭町	2,713	1,426	12,446	14,417	11,141	18,040	20,883
若桜町	933	7,473	2,503	6,995	6,302	7,552	8,494
計	8,917	17,121	28,717	38,077	42,046	55,111	69,612

資料: 八頭事務所調べ(事業実績)



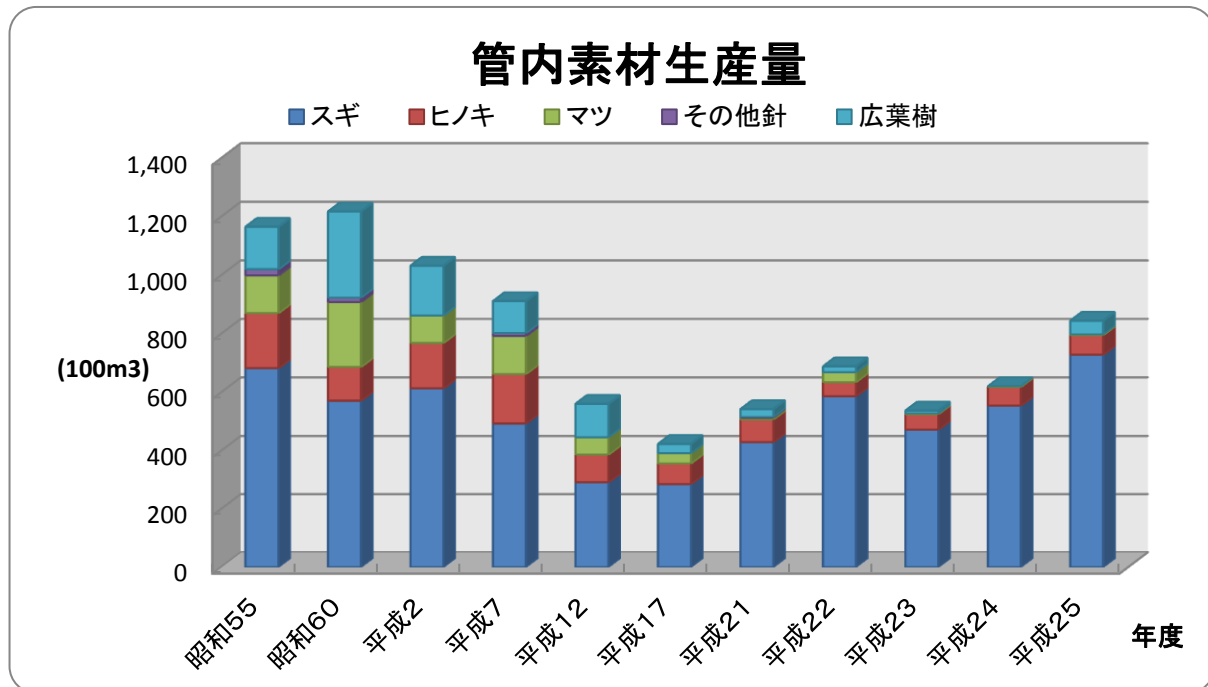
(智頭町東宇塚地内)



(用瀬町江波地内)

(3) 地域材の供給

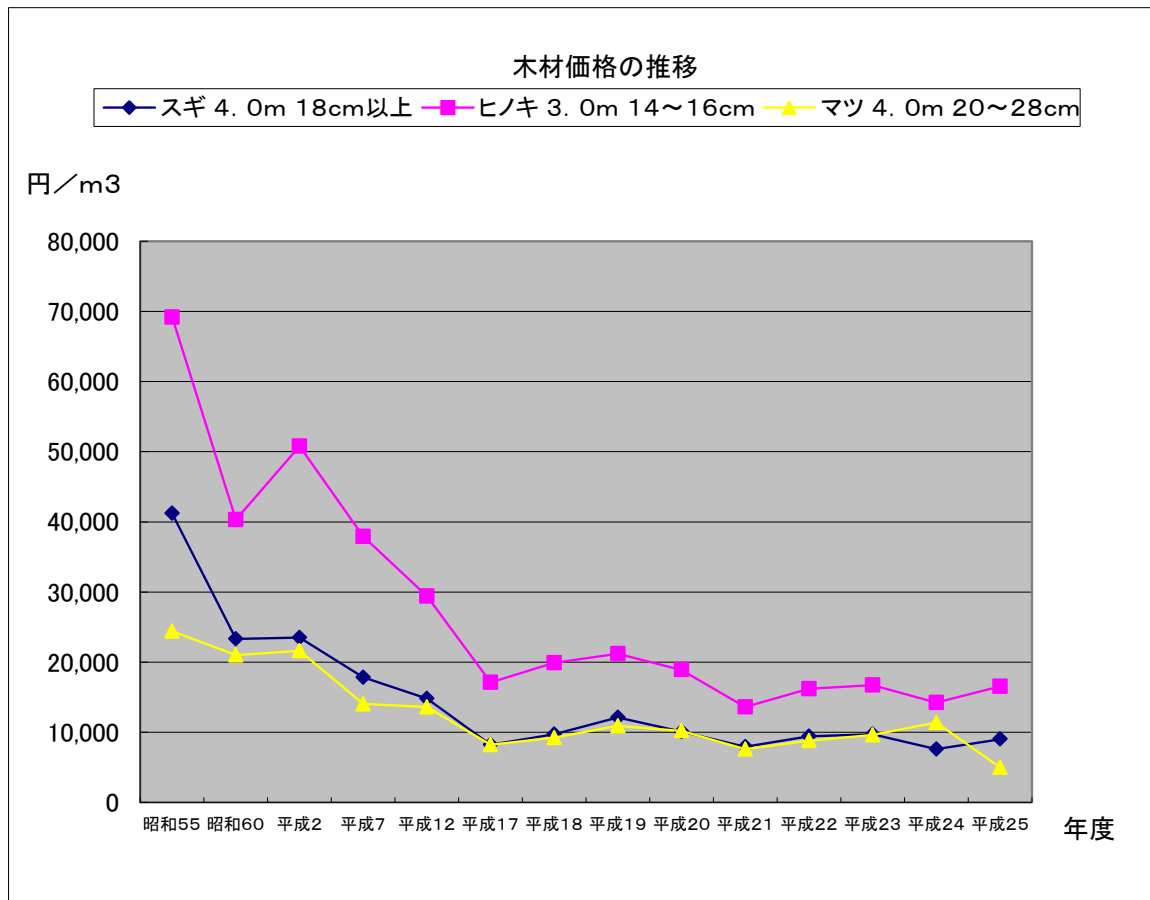
- ・昭和55年をピークに材価が下がり、主伐が控えられきており、施業も長伐期に移行してきたが、現在では、その森林での間伐材の生産が中心となっている。
- ・管内のマツの供給は、松くい虫被害による資源の減少に伴い生産量が減少している。反面、平成18年頃から蓄積の多くなったスギやヒノキの生産量が増加している。
- ・素材生産の活性化のためには、生産費の低コスト化と木材の需要拡大が課題であり、高性能林業機械の導入や地域材の活用が必要である。



資料：平成26年度鳥取県林業統計

(4) 木材価格の推移

・木材価格は長期にわたり低迷を続けてきていたが、平成19年頃から兆しの回復は見られたが、平成20年9月のリーマンショックを期に下落した。このことが、間伐の実施等健全な人工林の維持管理をも停滞させる負の要因になっていることは否めない。



資料：平成26年度鳥取県林業統計

※18年までは鳥取県森林組合連合会木材共販所、19年以降は(株)石谷林業智頭支店(素材市売状況)

(5) 森林路網の整備

八頭事務所管内の人工林資源では、9齢級の森林面積が最も多く、今後、収入間伐の可能な森林が増大して行く。

過去5カ年間の作業道開設を見ると、車両系林業機械を用いた低コスト林業に移行するために、その基盤となる作業道開設が増加している。特に平成21年度以降では、開設の前提となる団地化が定着しつつあることと併せて、建設事業体と連携した開設が始まり大幅に増加している。平成23年度は台風による進入路被害、補助事業制度改正等に伴い一時的に停滞しましたが、災害復旧などを経て回復し、平成25年度は特に八頭町に開設が進みました。

なお、団地化の形成が遅れている若桜町では鈍化傾向が見受けられることから、森林組合主導による取組強化が急がれます。

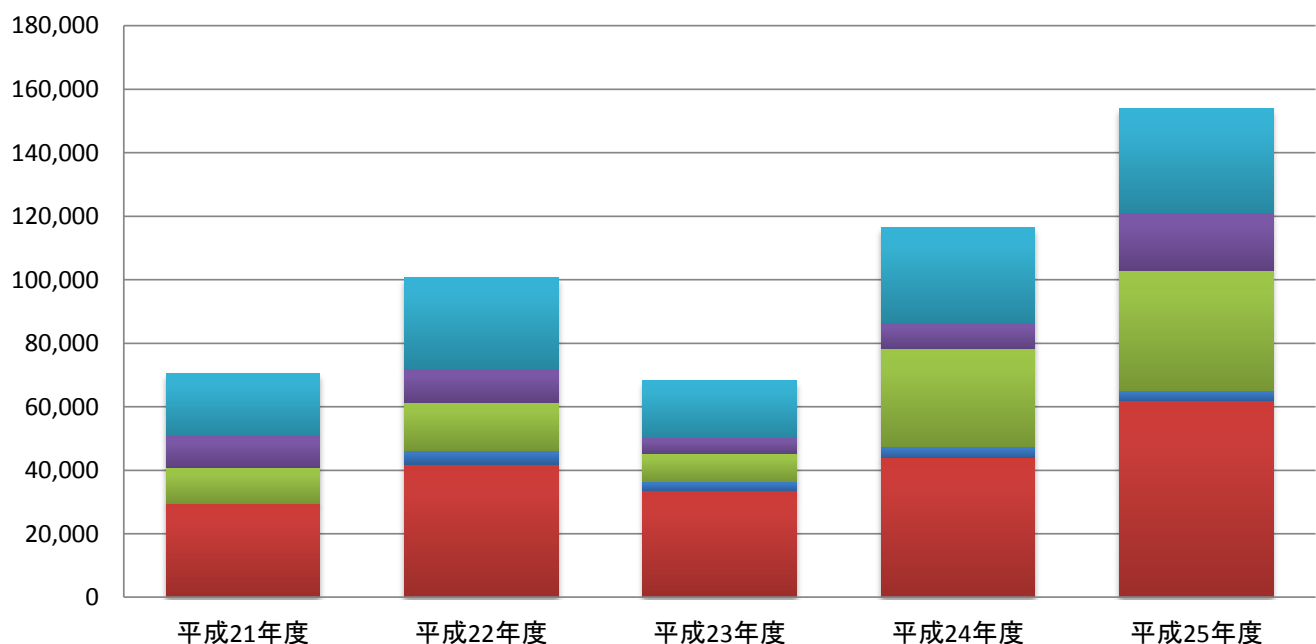
【作業道開設量の推移】

単位:m

市 町 別	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		5カ年間の累計	
	路線数	延長	路線数	延長	路線数	延長	路線数	延長	路線数	延長	路線数	延長
鳥 取 市	48	29,610	68	41,998	69	33,648	58	44,052	82	61,857	325	211,165
岩 美 町	0	0	7	4,400	6	2,830	7	3,552	6	3,393	26	14,175
八 頭 町	18	11,227	22	15,104	11	8,978	38	30,831	54	37,715	143	103,855
若 桜 町	20	10,109	33	10,708	12	4,837	11	8,292	23	18,096	99	52,042
智 頭 町	37	19,478	32	28,660	32	18,012	53	29,658	72	32,842	226	128,650
合 計	123	70,424	162	100,870	130	68,305	167	116,385	237	153,903	819	509,887

作業道開設延長

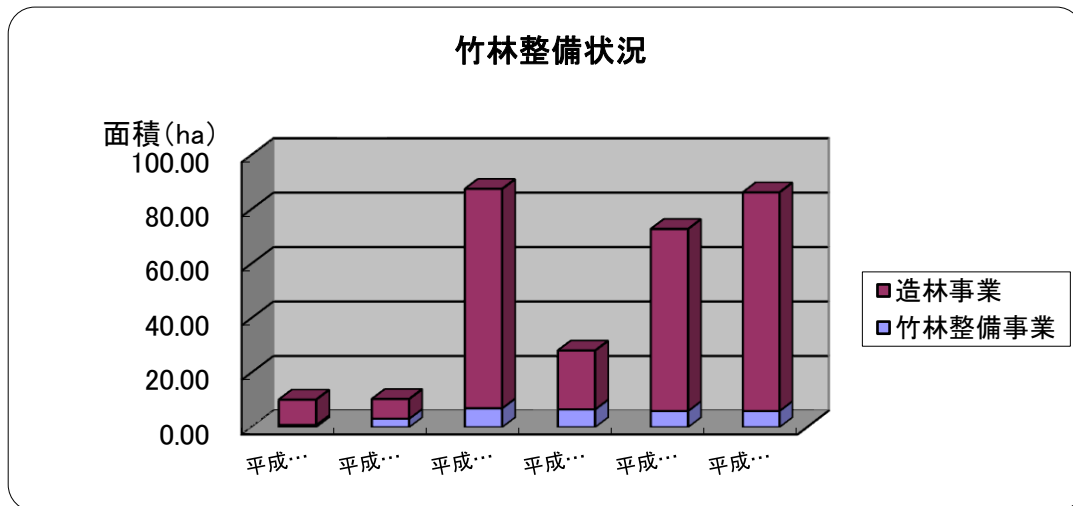
延長(m) ■ 鳥 取 市 ■ 岩 美 町 ■ 八 頭 町 ■ 若 桜 町 ■ 智 頭 町



(6) 放置竹林の整備

八頭事務所管内では、約1,500haの竹林があり、現在、その多くが放置され荒廃竹林として整備がされないままである。特に鳥取市、岩美町、八頭町に竹林が多く、竹林の拡大や人工林への侵入、整備されないことにより、保水機能や土砂災害防止機能の低下など、生活面や環境面で悪影響を及ぼしていることから、竹林の整備は早急の課題である。

また、古くから竹は強度があり身近な材料として、住宅や家具などに使われてきたが、現在はそういった利用も減少し、伐採された竹も林内に放置され、多くが利用されないままである。利用用途が少ないことも、竹林整備が進まない理由にあげられるため、今後、利用用途の拡大が課題である。



【竹林整備面積】

単位: ha

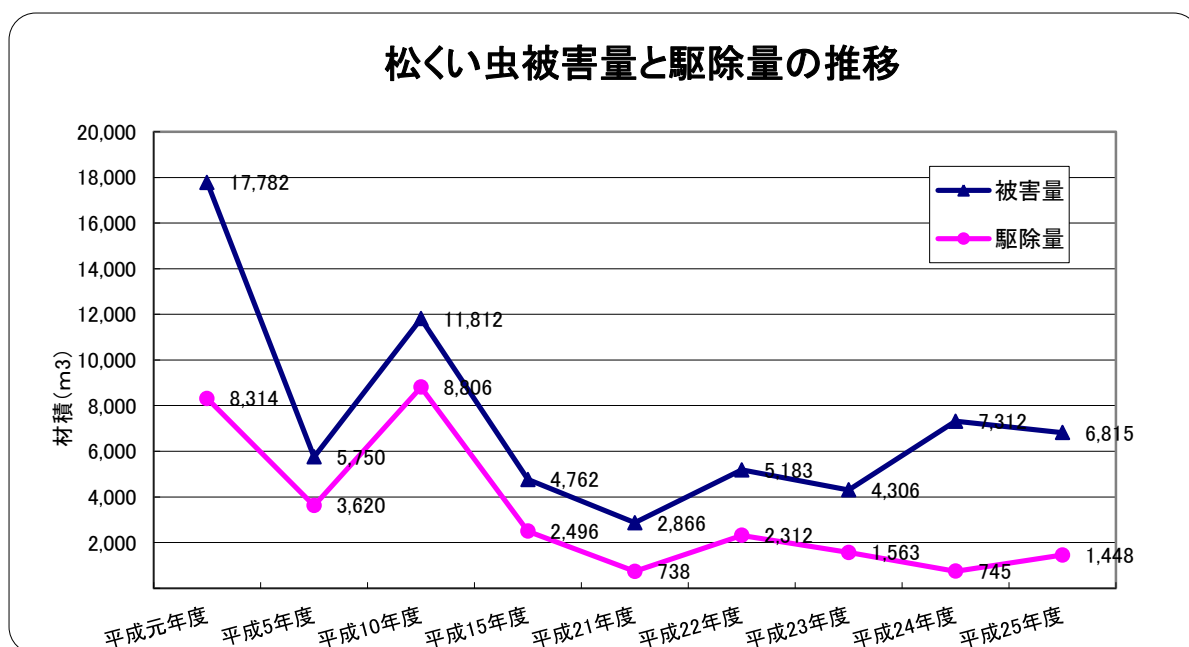
区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
竹林整備事業	0.84	3.14	6.99	6.58	5.98	5.99
造林事業	9.31	7.23	80.56	21.57	66.83	80.28

※八頭事務所調べ(事業実績)



(7) 森林病虫害の被害・防除

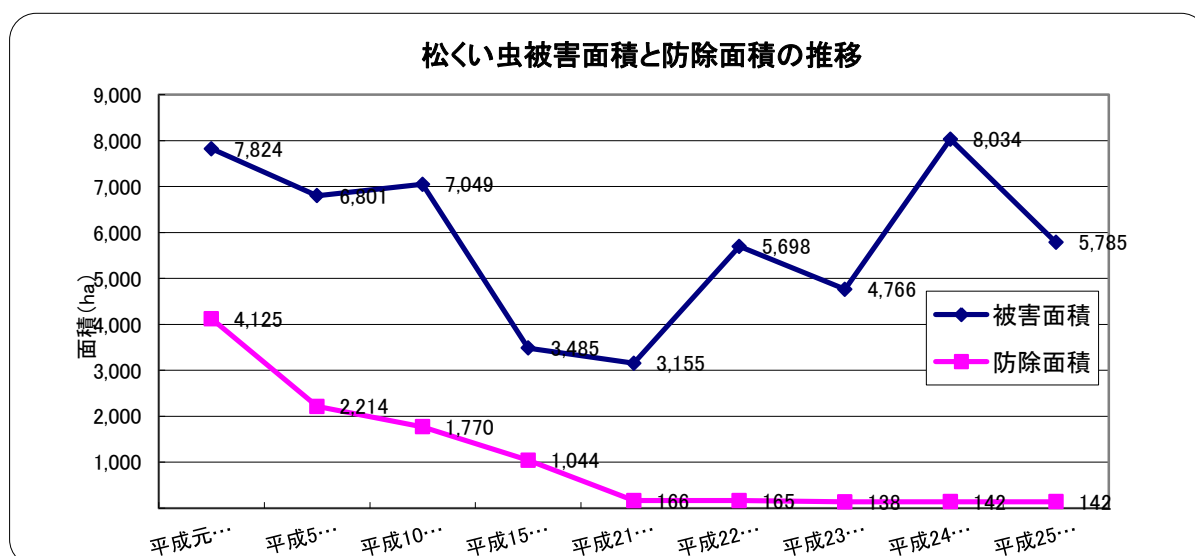
森林病虫害の被害は、松くい虫被害においては、鳥取市、岩美町で多く、平成12年頃をピークに年々減少しているが、近年再び増加傾向にある。ナラ枯れ被害は、平成20年頃に八頭郡内でピークを迎え、平成22年以降は鳥取市西部で被害が多くなった。八頭事務所管内でのナラ枯れ被害のピークは現在去ったものの、県中西部では被害が年々増加している。



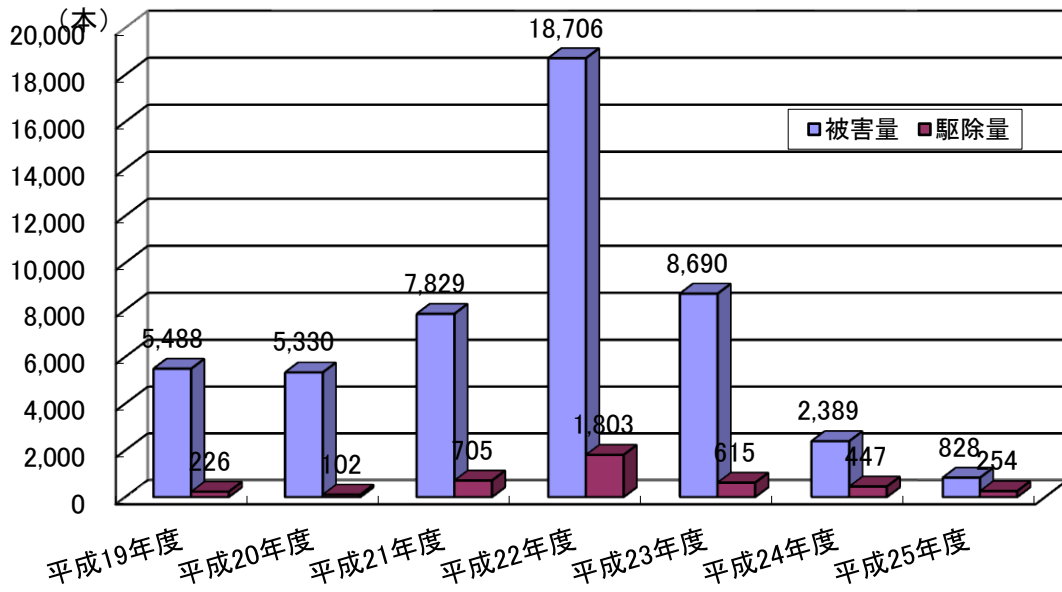
単位：m³

区分	平成元年度	平成5年度	平成10年度	平成15年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
被害量	全県	33,905	25,009	38,297	28,823	13,280	16,131	13,515	21,610	19,508
	東部	17,782	5,750	11,812	4,762	2,866	5,183	4,306	7,312	6,815
駆除量	全県	20,314	17,336	20,762	10,678	4,902	6,892	5,798	7,431	6,163
	東部	8,314	3,620	8,806	2,496	738	2,312	1,563	745	1,448

資料：平成26年度林業統計



カシノナガキクイムシの被害と駆除状況



区分		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
被害量	全県	7,087	7,364	11,140	20,765	10,390	3,791	3,123
	東部	5,488	5,330	7,829	18,706	8,690	2,389	828
駆除量	全県	230	180	1,505	2,811	1,564	1,156	1,818
	東部	226	102	705	1,803	615	447	254

単位：本
資料：森林・林業振興局調べ



鳥取市青谷町桑原地内の被害状況

(8) 特用林産物の振興

原木しいたけは、里山の広葉樹を活用して植菌することにより次世代の森林を育成し、ナラ枯れを防ぐ役割も担っている。

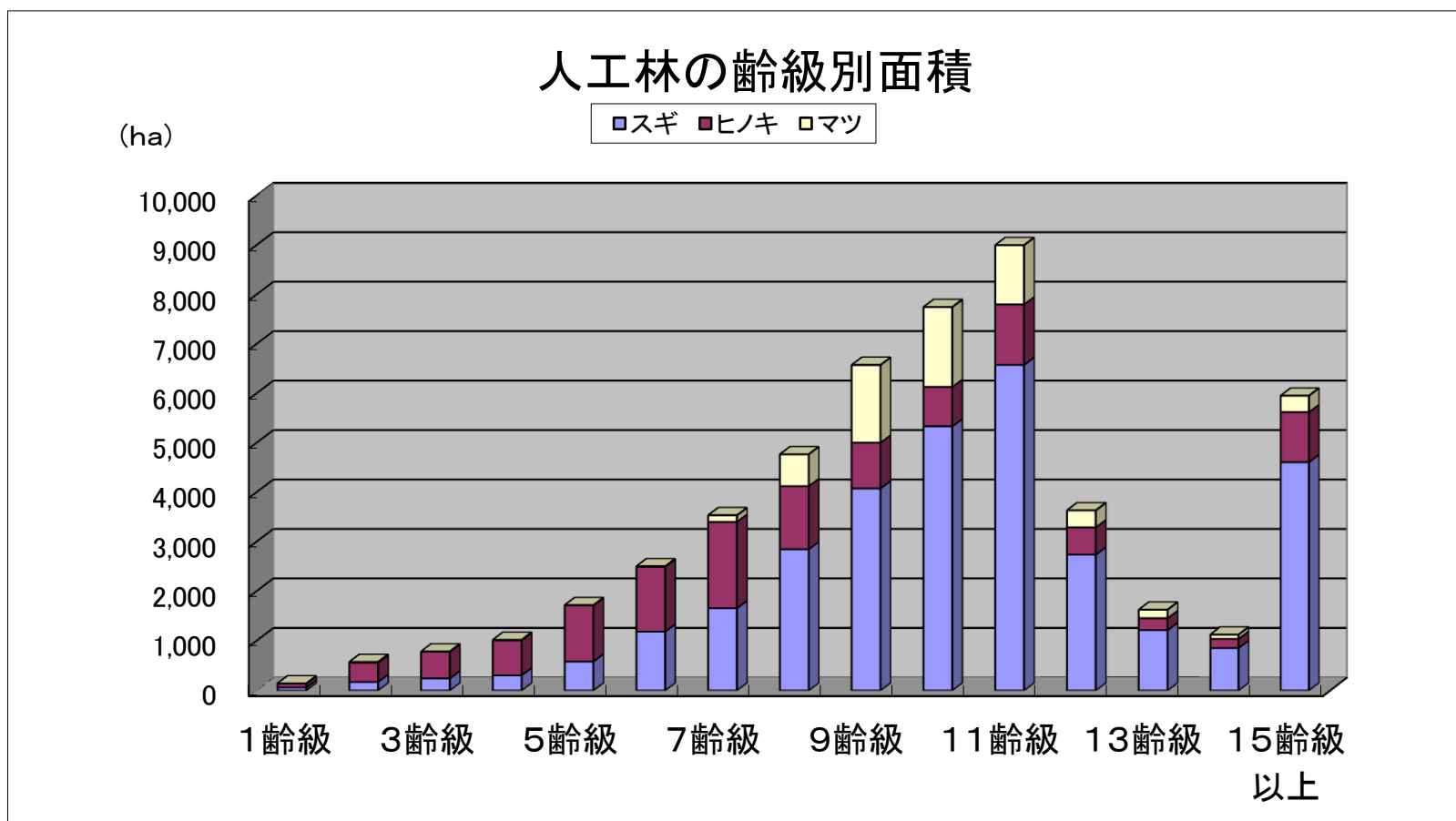
東部・八頭地区では、東部圏域全体で「きのこ王国いなば」として平成21年度から原木供給活動を行っており、後継者対策として「原木しいたけ新規生産講座」の卒業生へ新規参入を促しながら、JA、日本きのこセンターと連携して原木しいたけの増産を目指して普及活動を行っている。

【主要な特用林産物の生産状況】

区 分	生産者数 (人)			生産量 (t) ※木酢液はkl		
	平成24(A)	平成25(B)	対前年比 (B)/(A)	平成24(A)	平成25(B)	対前年比 (B)/(A)
しいたけ	157	207	132%	173.8	163.9	94%
乾				11.0	11.4	103%
生				162.8	152.5	94%
なめこ	64	54	84%	112.4	113.9	101%
ひらたけ	7	24	343%	3.7	3.7	101%
まいたけ	3	1	33%	34.2	27.2	79%
ぶなしめじ	4	4	100%	160.3	160.2	100%
えのきたけ	4	3	75%	160.4	249.2	155%
竹炭	5	5	100%	1.3	0.6	48%
木酢液	4	4	100%	5.9	3.7	62%

資料：平成26年度林業統計

【東部農林局管内における人工林の現況】



資料：八頭事務所調べ(森林GIS)